



株式会社飛鳥工房

木のぬくもりを感じる
ものづくり



愛情が生んだ安心おもちゃ

滑らかな肌触りと子どもがなめても安全な塗料、そして木のぬくもりを感じるデザインが人気の飛鳥工房。創業当初は、家具のつまみや取手を製造し、家具業界を支えていました。

それが諸富町唯一のおもちゃメーカーとして確立したのは、廣松代表が大切な我が子に安心して遊べる木のおもちゃを与えたいと、木馬を作ったことから始まります。

「子どもが最初に触れるのは木の製品であってほしいという願いで作っています。赤ちゃんが触れるものですから、何度も研磨を重ねてすべすべになるまで磨き、塗料や接着剤は口に入れても安全な天然素材の物を使っています。デザインにもこだわり、角がなく、簡単に飲み込めないように工夫しています」と廣松代表。

同社では、木材の硬さや香りなどから特

性を見極めて用途を決め、材木の仕入れ、機械加工、研磨、塗装まで全てを自社で行い、安全管理と高品質のおもちゃづくりを行ってきました。

赤ちゃんのことを考えてこだわり抜いたデザインは、グッドデザイン賞や数々の賞を受賞し、おもちゃの人気ブランドとして全国から注文が寄せられています。

アウトドア商品が誕生

食器、パズル、時計、インテリアなどさまざまな商品が並ぶショールーム。

廣松代表は常に木材の可能性を探り、佐賀の木材を使ったぐい呑みやスピーカー、トロフィーなど新商品を開発しています。

「常にアンテナを張って考え続けています。最近、大人の遊び心をくすぐるようなアウトドア商品を開発しました。かっこよくて機能性を備え、“飛鳥工房”らしい手

に柔らかい製品です。使い心地を追求するため、ミリ単位で薄く削って試作を重ねることもあります。手間暇がかかりますが、そこに職人の技が生きて思うんです」。

新ジャンル“飛鳥工房アウトドア”はアウトドア好きな人からの反応も良く、注目を集めています。

これからも“木の良さを伝えたい”という原点を大事に、木と向き合い、挑戦と研究を続けます。



代表取締役
ひろまつ としひこ
廣松 利彦

廣松代表が娘さんのために
初めて作った木馬



株式会社飛鳥工房

☎ 0952-47-5697

[所] 佐賀市諸富町徳富112-4

[創業] 昭和61年(1986年)

[従業員] 5名

[HP] <https://asukakoubou.com/>

飛鳥工房 検索

ポイント



2012年度グッドデザイン賞を受賞したどんぐりとファーストスプーン。安全な塗料を使ったファーストスプーンは形にもこだわり抜いたことが評価されました。ゆっくり転がるどんぐりは見ていてかわいらしく、音や速度の変化が楽しめます。

木村情報技術
株式会社技術と創造力で築き上げた
Web講演会運営・配信
実績No.1

業界トップのライブ配信

インターネットを使った講演会の運営・配信サービスの先駆者の存在で、医療業界でのトップシェアを誇る木村情報技術。

全国9カ所にある自社スタジオから配信している講演会は、最先端の情報を得ようと数千～数万名の医療従事者が視聴しています。さらに講演会の収録やオンデマンド配信、リアルタイムでの投票集計システムなどのコンテンツも充実。

ライバル企業が乱立する中でも、トップの座を維持している理由について、「一番大切にしていることは、講師の先生方との関わり方というアナログな部分です。製薬会社での営業経験を基に、先生方に喜んでもらえる挨拶や振る舞いなどを社員に徹底してきました。それが選ばれる最大の要因です」と話す木村代表。

確かな技術はもちろん、企業理念に共感し、「人に喜ばれることを判断基準として仕

事を選び従事する”、“感謝と和合を大切にしていこう”という精神を社員も実践しています。

また、毎日の朝礼は全国各地のオフィスをネットでつなぎ、ライブ配信をして呼吸を合わせています。

人と技術を育む

同社は世界最高峰のAI※1“IBM Watson※2日本語版”を日本で初めて導入し、その活用と研究開発を手掛けています。

アイキュー

AIソリューション“AI-Q”は質問や問い合わせにAIが24時間365日対応し、会話感覚でやりとりができます。

業務負担軽減や効率化につながるとあって、大手企業や大学、官公庁などでも導入が進んでいます。

木村代表に今後の展望を伺うと、「本社

がある佐賀にAIが学べ、データサイエンティストを育てる“木村情報タウン”を作りたいですね。そこで年齢を重ねても働き続けられる人材を育てていきたいです。人材が育てば、それを求める企業も増えます。事業を通して、起業する際にお世話になった佐賀に貢献していきたいです」との答え。

誠実な人柄と革新的な技術で時代を開く、木村情報技術の今後の活躍に期待が高まります。



※1 AI：人工知能のこと

※2 IBM Watson：IBMが開発した質問応答・意思決定支援システム

代表取締役
きむら たかお
木村 隆夫AIお問合せシステム
“AI-Q (アイキュー)”

木村情報技術株式会社

☎ 0952-31-3901

[所] 佐賀市卸本町6-1

[創業] 平成17年(2005年)

[従業員] 335名

[HP] <https://www.k-idea.jp/> 木村情報技術 検索

このポイント



約90の製薬会社と約90の大学医学部に製品やサービスを提供し、年間2,200回のライブ配信を行っている実績が認められ、製薬会社向け“Web講演会運営・配信”で国内トップシェアに輝きました。大手企業とも取引を行い、信頼の厚い企業です。



共立エレクトクス株式会社

イノベーションを起こす
セラミックス基板の技術者集団



世界が認める高い技術

スマートフォンやパソコン、自動車用制御回路などで使用されるセラミックス基板や電子回路印刷基板の開発・製造を行う共立エレクトクス。同社の製品は電子機器製品の内部に搭載される電子部品の主要部材として幅広く利用されており、車の回路基板については3台に1台は同社の基板が使われているなど、世界市場で高い品質が評価されています。

同社は昭和26年(1951年)に電子回路で使うカーボン抵抗器の碍子を作るメーカーとして創業。以来半世紀以上の間、電子機器技術の変遷に伴って細密な寸法精度、高い信頼性、コストパフォーマンスの良さなど、セラミックス基板のメーカーとして日々技術を磨き上げてきました。

「我が社が心掛けていることは、お客さまの声を大事にし、難しい要望にも挑戦していくことです。過去には、“基板に直径0.1ミリ

メートルの穴が2,000個近く開いていて、その穴全てに導体を均一に埋め込めないか”と難しい相談を受けましたが、試行錯誤の末に実現しました。この技術は他社との差別化につながり、ものづくりを行う上で大きな自信となりました」と西山代表。

また、セラミックス基板と回路形成を開発の段階から一貫してできる同社は、お客さまの要望を受けてすぐに提案ができるので、大変喜ばれています。

有田からイノベーションを

同社はさらに技術力向上を追求し、薄いセラミックス基板の開発にも力を注いでいます。コピー用紙の半分の厚みである50マイクロメートルの薄さを均一に成形する技術は、回路基板に限らず燃料電池などさまざまな分野で活用されています。

日進月歩で進化するエレクトロニクス産

業において、新たな分野への技術開発にも積極的に取り組む同社。「時代の流れに乗っていくために、技術研究はもちろん、世の中にどのようなニーズがあってどう変化しているのか、常に情報のアンテナを張っています。5G※1やIoT※2、さらには新エネルギーなどの成長分野を視野に、どんな難しい技術でも、“あそこに頼めば何とかしてくれる”とお客さまから思われる企業でありたい」と西山代表は話します。

常に新しいことに挑戦する共立エレクトクスによって、有田からセラミックス基板の技術革新が巻き起こっています。



※1 5G: 第5世代移動通信システム。1G、2G、3G、4Gに続く無線通信システムのこと
※2 IoT: モノのインターネット。あらゆるモノをインターネットに接続すること



代表取締役
にしやま けんご
西山 研吾

超小型電子部品用の
回路印刷技術



共立エレクトクス株式会社

☎ 0955-46-2821

[所] 西松浦郡有田町立部甲170-1

[創業] 昭和26年(1951年)

[従業員] 120名

[HP] <https://www.kyoritsu-po.co.jp/> 共立エレクトクス 検索

ポイント



共立エレクトクスの“超薄厚みセラミックシート”は、強度を保ちつつ韌性も有しており、その成形技術は非常に高いと評判です。薄型化が進む電子部品や燃料電池、全固体電池などさまざまな用途開拓が進んでいます。



24
SAGA SAIKO
COMPANY PROFILE



製造業
(機械金属系)

株式会社 香田製作所

切削加工で高みを目指す
超精密加工や難削材も

精度と質の高い部品作り

工業製品の組立に欠かせない部品。香田製作所は其中でも金属の切削加工に特化し、自動車や産業用機械などの多種多様な部品を製造、多くのメーカーから選ばれてきました。

高性能の複合加工機から生み出される部品は、一つ一つの精度の高さに加え、手触りの良さ、仕上がりの美しさも特長です。“価値ある製品に価値ある部品を”のキャッチコピーが示す通り、特に重要で、ブランド力の高い機械に用いられ、その品質の良さが認められています。

60台の機械を揃え充実した設備は、小ロットや短納期の要望にも十分対応できる体制。関東や関西の企業、それらの九州工場などにも納入しています。また、ステンレス、チタン、インコネルなどの難削材と呼ばれる素材の切削にも取り組み、超高精度な切削加工も得意です。

初代の祖父はろくろ、2代目の父はカム式旋盤、現在はNC旋盤と道具は変わっても、受け継がれる切削加工の技術。3代目の香田社長は、さらに他社との差別化を図ることで独自の存在価値を保ち続けます。

働きがいを生む環境整備も

地元から通う社員が多い同社は、それぞれが自主的に働く職場を目指しています。社員は一人で一つの製品を担当し、指示書を読み取り、機械を動かします。部品と一口に言っても大きさや複雑さ、素材などはさまざまで、年間を通して変化を感じながらもものづくりにじっくりと取り組みます。

「新入社員は先輩に教えられ、ある程度上達しますが、この仕事を面白いと思ってもらえるかどうかが一番重要です。情熱を持ってのめり込むほど、次のステップにつながります」と香田社長。また、加工され

た部品がどのような用途で使われているのか、社員が実感できる機会を増やすことで、より働きがいを感じてもらえと考え、展示会などへの出展や他企業との連携にも意欲的です。

今後は長年続いている中小メーカーなどの需要の開拓も視野に入れ、人の創造力が加わった精密な切削加工技術という最大の強みを生かして未来を切り開いていきます。



代表取締役社長
こうだ かずのり
香田 和則

どれも精巧で美しい
大小それぞれの部品



株式会社香田製作所

☎ 0952-62-7500

[所] 佐賀市大和町大字川上158-1

[創業] 昭和23年(1948年)

[従業員] 17名

[HP] <http://www.kodass.com/>

香田製作所 検索

このポイント!



創業から70年以上受け継がれている金属の切削加工技術。特に、削るのが困難な難削材と言われる素材の加工に優れ、その精巧さや質感を高めることで他社との差別化を図っています。重要な保安部品や高級機器の部品などを製造し、関東・関西を中心に九州や海外にも商圏エリアを拡大中。

25
SAGA SAIKO
COMPANY PROFILE



サービス業

損害保険ジャパン 日本興亜株式会社 佐賀コールセンター室

日本一のおもてなしで
お客さまに最高の満足を提供



充実したスキルアップ研修

損保ジャパン日本興亜は、全国5拠点でカスタマーセンターを運営しており、その一つとして、佐賀コールセンター室は平成18年（2006年）に開設。各種保険の問い合わせや契約変更手続きに対応しています。「私たちが掲げるミッションは“日本一のおもてなしで、お客さまにとって最高の満足を提供する”。困り事は一人一人違うからこそ、それぞれのニーズに合わせた対応でお客さまに安心していただくことが私たちの仕事です」と河村室長。

顔が見えない電話対応のため、大切なのは分かりやすい言葉で伝える説明力と、相手の気持ちに寄り添う人間力。簡単に身につくスキルではないからこそ、オペレーターの人材育成には力を注ぎ、成長に合わせた研修を段階的に行っています。平成27年（2015年）には同室から電話対応コンクール全国大会に出場し、佐賀県代表とし

て初めて優秀賞を受賞しました。

働きやすい環境づくり

「お客さまに満足していただくサービスを提供するには、社員一人一人が仕事にやりがいを持てる働きやすい環境づくりが大切です」と河村室長。同室はオペレーターの9割以上が女性で、在職中に結婚・妊娠した場合の復職率はなんと100%。復帰に不安を感じないよう周りがサポートするのはもちろん、育児と仕事の両立がしやすいように短時間勤務も可能で、女性が働きやすい環境が整っています。

全国のお客さまから同室への入電量は年間約33万件。平成29年（2017年）からは、お客さまを待たせることなく、スピーディーな対応ができるようにAI※を導入しています。お客さまとの通話内容をリアルタイムでテキスト化し、その内容に関連す

る資料を自動的に表示するシステムで、現在あらゆるデータを蓄積している段階です。お客さまのニーズに合わせてデジタル技術を活用しながらも、相手の気持ちをくみ取るという人間にしかできないスキルを磨き続け、お客さま対応を極めていきます。



※AI：人工知能のこと



室長
かわむら すずむ
河村 薦

最新の環境で、社員が
生き生きと働ける職場



損害保険ジャパン日本興亜株式会社 佐賀コールセンター室

☎ 0952-41-2983

[所] 佐賀市天神3-15-1 アイ・フォレストビル3F

[開設] 平成18年（2006年）

[従業員] 175名

[HP] <https://www.sjnk.co.jp/> 損害保険ジャパン日本興亜 検索

ココがポイント!



ES（社員満足）の向上こそがCS（顧客満足）の向上につながるを考え、社員一人一人が生き生きと、やりがいを持って働ける職場づくりに努めています。会社に行きたくなくなる取組として、社員が浴衣を着用して仕事ができる夏祭りやクリスマスイベントなども好評です。

株式会社東洋新薬

研究開発力が強み
健康食品、化粧品などの
受託メーカー

企業を支えるものづくり

健康と美容を確かな研究実績と開発力で支えている東洋新薬。健康食品と化粧品の総合受託メーカーとして、日本および世界へ商品を提供しています。事業の中で力を注ぐのは、特定保健用食品(トクホ)や機能性表示食品の開発。健康食品業界でトップシェアを誇る大麦若葉末や葛の花エキス™、ターミナリアベリリカ™など、独自の商材を開発し、お客さまである企業に提供しています。

化粧品についてもフラバンジェノール®や神奈川大学の特許技術“三相乳化法”を活用したスキンケア用品など、付加価値の高い商品製造実績が多数。天然素材の持つ力に技術を加えた、さまざまなものづくりが得意です。また、行政や大学との連携にも積極的に取り組み、佐賀県を含む1都※1道5県や東京大学、九州大学と協定を締結。県内では唐津産の柑橘類“ゲンコウ”、佐賀

大学発ブランド野菜“バラフ®”など固有の素材を配合した化粧品を開発するほか、佐賀大学と“発酵セラミド”の共同研究を行うなど、地域社会の産業振興にも協力しています。

ODEMで業界をリード

「当社では100名以上の研究開発員が、日々さまざまな素材に対する研究や臨床試験に取り組んでいます。中には、特定保健用食品など商品化まで長い年月がかかる案件もありますが、機能性、安全性を重視した素材の“価値”への追求は欠かせません。生産管理、知財など各分野に精通したプロフェッショナルをそろえ、それぞれのニーズに応えられる一貫したサポート体制も特長です」と服部社長。

お客さまの要望により応えられるよう製造能力を向上させ、スムーズかつスピー

ディーに商品化を実現するという強みをさらに伸ばすため、令和元年(2019年)6月、本部・鳥栖工場の近くに最新設備を備えた“インテリジェンスパーク第一工場”が竣工しました。ODM※2メーカーとしてこれまで培ってきた研究開発力等を生かし、OEM※3ををさらに拡大させる新しいビジネスモデル“ODEM(Original Design Equipment Manufacturing)”を展開し、健康と美容のフィールドで業界をリードし続けます。



※1 東京都教育委員会との包括連携協定 ※2 ODM: 委託者のブランドで製品を設計・生産すること
※3 OEM: 委託者のブランドで製品を生産すること



代表取締役社長
ほっとり としみつ
服部 利光

完成したばかりの
インテリジェンスパーク



株式会社東洋新薬

☎ 0942-81-3555

[所] 鳥栖市弥生が丘7-28

[創業] 平成5年(1993年)

[従業員] 1,084名

[HP] <https://www.toyoshinyaku.co.jp/> 東洋新薬 検索

ポイント



特定保健用食品の表示許可数日本一、そして医薬部外品の年間承認品目数4年連続日本一の実績があります。有名メーカーの商品も多く手掛けており、健康と美容の分野で創造性に富んだものづくりを続けて大きく成長。活気にあふれた企業です。



株式会社 戸上電機製作所

佐賀から世界へ
電気の安定供給を支える



電気を制御する開閉器

創業者の戸上信文氏のひらめきと、たゆまぬ努力から生まれた世界初の“昼夜間自動配電装置”。大正14年(1925年)、5カ国で特許を取ったこの発明をもとに設立された戸上電機製作所は、電気の安定供給を支えるメーカーとして国内外のインフラの整備に大きく寄与してきました。

特に、高圧の電気を安全に配電する開閉器などの各種配電システムは、全国の電力会社などにおいて高いシェアを誇ります。部品の製造から製品の企画開発、販売、保全まで、グループ会社とも連携した万全の生産体制です。また、業務用エアコンに使われる制御システム機器、工場に設置される配電盤など、多くの製品にも技術を応用。業界で“スイッチのトガミ”と呼ばれるほど成長してきました。

さらに、太陽光発電設備などの保守点検機器、業務用の水処理システムなど現代

のニーズにマッチしたさまざまな製品も開発。時代を見据え、創意工夫で次々と新しい分野を開拓し、中国、ASEAN諸国、北米などへの海外展開も積極的に進めています。

人財育成という土壌

脈々と受け継がれるのは、ものづくりの技術ばかりではありません。人財育成にかける思いの強さも伝統の一つです。昭和2年(1927年)、働きながら学業を修める“戸上電機徒弟学校”を創設、戦後も養成所を設立するなど、それぞれの時代において技能者を育てる“人づくり”を大切にしてきました。

現在、敷地内にある“修技館”では、社員に対する高いレベルの技能訓練を実施しています。熟練の技を持つ社員たちが、長い期間をかけてじっくりと指導。若手社員

が技能五輪全国大会などへの挑戦を続けています。

3代目となる戸上社長は、文化・スポーツを通しての社会貢献を重視し、グループ全体が関わる陸上競技部をはじめ、運動部のバックアップのほか、資格取得の奨励、ミャンマー人留学生の奨学金制度など、個人をも多様な形で支援しています。人の豊かさを社会、地球、未来の豊かさにつなげる佐賀のオンリーワン企業です。



代表取締役社長
とがみ しんいち
戸上 信一

電気の安定供給を支える
SOG開閉器



株式会社戸上電機製作所

☎ 0952-24-4111

[所] 佐賀市大財北町1-1

[創業] 大正14年(1925年)

[従業員] 1,011名(グループ会社含む)

[HP] <https://www.togami-elec.co.jp/> 戸上電機製作所 検索

このポイント!



創業者の画期的な発明により誕生した開閉器を基礎に、電気の安定供給を支える配電システムを開発。社会のインフラ整備に重要な役割を果たしています。昭和36年(1961年)には東京証券取引所への上場も果たしました。現代の名工に選ばれたマイスターが在籍し、後進の育成にも力を入れています。



28
SAGA SAIKO
COMPANY PROFILE



製造業
(機械金属系)

トヨタ紡織九州株式会社

ものづくり力で極める安全で
快適な移動空間

匠の技で仕立てるシート

トヨタ紡織のグループ企業として、シートやドアトリムなどの自動車内装部品、エンジン周辺部品を製造するトヨタ紡織九州。製品のほとんどが、レクサス車に搭載されています。「レクサスの魅力の一つは本革シート。大量生産を効率的に行う生産ラインでありながら、世界に誇るレクサス品質を徹底させるため、製造工程の細部にわたってものづくりを極めていきます」と吉川社長。

同社では、生産工程で匠の技が必要とされる最上級モデルの表皮一体発泡シートを生産。天然の本革を受け入れ時から時間と手間をかけて検査し、品質を均一化した後、高度な技術を必要とする縫製を行います。完成後の最終検査では、シートに座ったときのわずかな違いや振動などを厳重にチェックし、豪華な質感、優れたフィット感を持つ完璧な製品のみを出荷。まさ

に、洋服のオーダーメイドのような徹底した品質でシートを仕立て、運転時の安全で快適な移動空間を提案します。

現場力を高める人財育成

ものづくりの核となる現場力を高めるため、人財育成にも力を注いでいます。現場に必要な技能や専門知識の修得状況を評価・認定する制度を導入するほか、個々の技能レベルを競う社内コンクールを実施。また、社員一人一人が自分の能力を最大限に発揮できるよう、キャリアに応じた教育体制も整えています。さらに、多くの社員が国家技能検定にチャレンジしており、科学技術分野における創意工夫労働者賞（文部科学大臣表彰）では、これまでに7名の受賞者を輩出しました。

地域とともに成長する企業でありたいと、給与・賞与の一定金額以下の端数を寄

付するクラブの運営や日本トップリーグに参戦するハンドボール部（レッドトルネード）の活躍など、地域に根差した活動にも積極的です。「自分たちができることで地域や世界に笑顔の輪を広げるお手伝いをしていきたい」と吉川社長。高品質なものづくりを通じ、今後もより良い地域・社会づくりに貢献していきます。



取締役社長
よしかわ やすし
吉川 靖司

世界トップレベルの技術で
作られる高級シート



このポイント!



世界各国のトヨタ紡織グループから選りすぐりの技能者が集い、組立や縫製などのものづくり力を競う“オールトヨタ紡織技能コンクール”に出場。さらに、サークル活動として、現場で実践した品質向上の取組を報告する“QC発表会”を実施するなど、さまざまな人財育成の手法で、社員の現場力や実践力をアップしています。

トヨタ紡織九州株式会社

☎ 0952-52-7111

[所] 神崎市神埼町鶴1600

[創業] 平成3年(1991年)

[従業員] 1,500名

[HP] <https://www.tb-kyushu.co.jp/>

トヨタ紡織九州 検索



株式会社中村

クスノキから生まれる
人と自然に優しいものづくり

クスノキを使った新事業

昭和30年(1955年)に木材販売を開始し、昭和49年(1974年)には“中村ツキ板”として法人化した中村。

現在の主な事業は住宅資材や建材の販売ですが、平成19年(2007年)、中村彰義会長がある人から「自分の子どもがアトピーで、市販の防虫剤が薬剤なので使えず、クスノキを防虫剤代わりに使っている」と聞いたことをきっかけに、新しい事業を始めることになりました。「小さなクスノキのブロックを作り、それにクスノキのオイルを塗って繰り返し使える防虫剤として提案しようと思いついたことが商品化のきっかけです」と中村代表。

また、クスノキは製材時に端材が多く出るので、それを利用することで環境に優しいものづくりにもなり、クスノキからアロマオイルや防虫ブロックなどさまざまな商品を展開する“KUSU HANDMADE”が誕

生しました。

人と環境に優しい企業へ

“クス ハンドメイド”は、“クスノキの効能を使った暮らしになじむもの”をテーマに商品開発を行い、クスノキの端材を利用した防虫ブロックやエッセンシャルオイルの効能を生かした化粧品など、その商品は今では約160種類にも及びます。

現在はセレクトショップを中心に全国に販路を広げている同社。「お客さまに育ててもらっているブランドだと思っています。“クスノキのハンガーが欲しい”、“石鹸はありませんか?”など、要望に応え続けてどんどん商品が生まれました」と中村代表は笑顔で語ります。

今後は、“クス ハンドメイド”のブランド力をさらに高めるとともに、健康で快適な住まいとライフスタイルを提供する企業を目

指す同社。中村代表は「住まいだけではなく食も含めて、自然素材を生かした地球環境に優しい商品を開発していくことが私たちの使命であると思っています」と話します。人と環境に優しいものづくりを佐賀から発信しています。



代表取締役

なかむら みよこ
中村 光子子

一つ一つ手作りの
エコブロック
“ECO BLOCK”



株式会社中村

☎ 0952-44-3550

[所] 神崎市千代田町迎島1282-3

[設立] 昭和49年(1974年)

[従業員] 29名

[HP] <https://www.eco-washi.com/> 株式会社中村 検索

ココポイント!



平成28年(2016年)、中村は新事業として健康に良いといわれているエゴマの栽培に挑戦。“えこびと農園”のブランド名で、さまざまなエゴマ商品を生産・販売しています。さらに、自然と人を大切にする商品をアンテナショップで販売することで、お客さまに自然と親しむライフスタイルを提案しています。



30
SAGA SAIKO
COMPANY PROFILE



宮島醤油株式会社

食の原点から未来を創造
“おいしい”を全国の食卓へ

愛され続ける宮島醤油

創業から138年の歴史を持つ宮島醤油。その商品を知らない佐賀県人はまずいない、といっても過言ではないほど、長く親しまれてきた企業です。

“食の原点”である醤油・味噌の醸造から始まりましたが、関東にも工場を置き、自社ブランド商品の強化だけでなく、食品工業や外食産業向けの業務用加工食品や調味料の生産、さらにはOEM※と、事業を拡大し続けています。

お客さまのニーズに応えるうちに、現在取り扱っている商品の数はなんと約3,500種類と多岐にわたります。特に、地元産の優れた食材を活用する“地産地工”の商品開発に重きを置き、新技術の開発にも取り組んでいます。

また、石油燃料を使わない環境先進工場化への取組などが評価され、平成30年(2018年)には経済産業省の地域未来牽

引企業に、令和元年(2019年)には中小企業庁のはばたく中小企業・小規模事業者300社にそれぞれ選ばれました。



“人”こそ事業の要

社員教育に光を当ててきた同社。宮島社長は「事業を支えるのは最終的に“人”ですから、社員を家族のように大切にする社風があり、人材育成に力を入れています。社

員とともに成長し続ける企業でありたいです」と話します。

理学博士でもある宮島社長は、社員を対象にした社内学校“宮島技術学校”で物理化学の教鞭も執っています。専門家を招いた技術セミナーなども定期的に行われており、働く上で必要な知識やスキルを身に付けるための機会が豊富です。

また、課外活動も盛んで、バドミントン部は全国の実業団選手権で決勝リーグに進むほどの実力者ぞろい。

今後のビジョンを伺うと、「多様化する食のニーズに最新の技術で応えていくことができる企業として、人々のライフスタイルの変化に対応し、食の豊かさを食卓に届け続けていきます」との答えが。人々の生活に密着した商品を提供し続けてきた宮島醤油は、“食”から未来を創造していきます。

※OEM:委託者のブランドで製品を生産すること



代表取締役社長
みやじま せいいち
宮島 清一

数多くのロングセラー商品



宮島醤油株式会社

☎ 0955-73-2151

[所]唐津市船宮町2318

[創業]明治15年(1882年)

[従業員]698名

[HP] <https://www.miyajima-soy.co.jp/>

宮島醤油 検索

ポイント



宮島醤油の伝統を支えてきたのは社是“去華就実”^{きよかしゅうじつ}の社風。“外面的な華やかさを捨て、実質あることに専念せよ”との意味で、堅実に守り続けた消費者からの信頼と実績の積み重ねが、同社にしかできない商品づくりにつながっています。